スポニチキャンパス

九工大アメフト部

◆九州工業大学　1909年（明42）に私立の明治専門学校として開校。1949年（昭24）に新制国立大学として現校名で設置される。学部は、工学部と情報工学部。戸畑、飯塚、若松にキャンパスがあり、戸畑キャンパスの所在地は福岡県北九州市戸畑区仙水町1の1。数々の科学者や技術者を送り出し、スポーツ部の主なOBはプロ野球・横浜などで活躍した田崎昌弘。

90年創部以来悲願の初昇格

強豪ぞろいの1部でも 秀才軍団 食らいつく

ワイルド・ギース

130キロ呉新主将奮闘誓う

来季は初の1部に殴り込む九州工業大のアメフット部

初の1部でも暴れる――。九州、山口の大学、高校の部活動を取り上げるスポニチキャンパス。今回は九州工業大のアメリカンフットボール部「WILD GEESE」（ワイルド・ギース）を紹介する。今年の2部リーグで優勝、入れ替え戦を制し、1990年（平2）の創部以来初の1部昇格を決めた。歴史をつくったメンバーに話を聞いた。（杉浦　友樹）

新チームの主将に就任する呉

入れ替え戦制す

チーム名の「ワイルド・ギース」は野生の雁という意味。雁は群れで隊形を組みながら空を飛ぶ。アメフットにはさまざまなフォーメーションがあり、そう名付けられた。90年の創部から四半世紀が過ぎ、今年新たな歴史をつくった。念願の1部昇格をつかみ、WR／DBの和才圭太朗主将（4年）は「最高の形で引退できてうれしい」と声を弾ませる。

九州学生アメリカンフットボールの2部リーグはA、Bに分かれており、九工大はBに所属。A、Bの首位チームが順位決定戦を行い、勝者が1部の最下位と入れ替え戦を行うシステムだ。15年に初めて入れ替え戦まで進むも福教大に7―14で惜敗。今季は2年ぶり進出の入れ替え戦（11月23日）で琉球大を17―14と逆転で下し、初昇格を決めた。「やっといけた！という思い」とWR／Kの田原（たばる）司（3年）は感慨を込める。

攻守がかみ合い

昨年までランプレーが主体だったが、QBの田代裕基（2年）が成長して、パス攻撃が加わって攻撃の幅が出た。熊本大戦、佐賀大戦では無失点に抑えるなど、守備陣もシーズンを通して安定。攻守がかみ合った。

来季の新主将には「監督ですか？とよく聞かれる」と笑うOL／DLの呉尚昇（なおあき・3年）が就任。1メートル86、130キロと大柄でマークされることも多い。「自分のおかげでタッチダウンができればいい」と果敢に体を張る。1部は西南大、福岡大など強豪ぞろいで、選手層が違うのは百も承知。「食らいついていきたい。1部で戦う基礎をつくっていこうと思う」と奮闘を誓う。

ほとんどの部員が九州出身だが、九州の高校にはアメフット部が一つもないため、全員が初心者からのスタートだ。そのため用具購入の負担が大きく、アルバイトで工面する部員もいる。環境に恵まれず、辞めていく部員もいるのが実情だ。グラウンドに照明設備はなく、冬はすぐに真っ暗になる。用具の消耗が早い土のグラウンドなどの悪条件を乗り越えてきた。

数々の苦難克服

数々の苦難を克服してきた部員たちは「金属にどのような力を加えたら浸食するか」を研究するマテリアル工学科の田原ら秀才ぞろい。厳しい戦いは覚悟の上で、持ち前の芯の強さで1部のチームに食らいついていく。

動画共有サイト活用

○…チームは2年前からマネジャーが撮影した練習風景、ポジションごとに分かれた練習などを動画共有サイト「Hudl（ハドル）」にアップする取り組みを始めた。授業の関係で練習に全員がそろわないこともあるためだ。いつでも、自分の映像を確認することができ、新主将の呉は「一つ、一つのプレーごとに分けてくれるのがいい」と話した。

OBのコーチも期待

○…OBの関裕崇コーチ（27）は観客席の上部にあるスポッター席からヘッドコーチに作戦を伝える役割を担当している。「OB以外の一般の方が見ても、応援してもらえるチームになってほしい」と後輩に期待している。同じくOBで社会人チーム福岡SUNSでプレーする小副川（おそえかわ）裕太コーチ（24）は「チームとして凄くまとまっている。まずは1勝して、1部に残ってほしい」と話していた。

◇九工大秋季リーグ成績◇

9．2	長崎県立大	○49－13
16	熊本大	○43－0
10．9	宮崎大	○20－6
◇2部順位決定戦◇		
11．4	佐賀大	○17－0
◇入れ替え戦◇		
11．23	琉球大	○17－14

NFL見て研究

○…成長株の2年生QB田代。パスの起点となるポジションだけに、正確性、状況判断力が求められる。「攻撃の中心なのでプレッシャーはあります」と話す。NFLのハイライト番組や動画を見て研究する努力家は、ジャイアンツのWRオデル・ベッカムに憧れている。来季へ向け「チャレンジャーなんで思いっきりやりたい」と力を込めた。

パス攻撃が良くなったQBの田代

QB田代パス進化で攻撃に幅

女子マネ3人が選手サポート

2年生・太田さんリーダー

選手を支えるマネジャーは3人。リーダーは幸（ゆき）ちゃんの愛称で愛される太田幸子さん（2年、写真）だ。

入学時の部活紹介を見て「ユニホームが格好いい。ヘルメットも金色で選手もマッチョだし…」と目を奪われ入部。仕事内容は、練習のビデオ撮影、練習メニューの時間管理など多岐にわたる。残り2人は、学校近くの西南女学院大に在籍する1年生。1人でも休めば、選手に手伝ってもらうだけに「欲を言えば、もう少しマネジャーが増えたらうれしい」と望んでいる。

最初はルールも分からなかったアメフットだが、最近は目線が変わってきた。「大きい人たちの力がないとタッチダウンはできない」と大柄な選手が多いディフェンスラインに目がいくようになったという。

「偉そうなことは言えないけど、1部で戦っていける体づくりをしてほしいです」。来季もマネジャー陣が全力で選手をサポートする。

▽QB（クォーターバック）　ランプレーであればRB（ランニングバック）にボールを受け渡すハンドオフか横にボールを投げるピッチをする。パスプレーを選択した場合、タイミングをとらえながらWRに投げる。自らが走ることもある。

▽WR（ワイドレシーバー）　QBからのパスをキャッチ。ラン攻撃の時やほかのレシーバーにパスがされる際はブロックのために走る。

▽K（キッカー）　フィールドゴールを蹴る選手のこと。敵陣のゴールポストの間、かつクロスバーの上方に通れば、3点を獲得。

▽OL（オフェンスライン）　5人で形成されたユニット。自らの体を犠牲にしてディフェンスをブロックしたり、ランプレーではRBの走路を切り開き、パスプレーではQBを守る。

▽DL（ディフェンスライン）　ディフェンスの最前線で体を張る通常4人からなるユニット。QB、RBに突進していく。

RKBアナ　壽老　麻衣

じゅろMyコラム

物語の素晴らしさ届ける出張お話会

私たちRKBアナウンサーは、年に何度か朗読会を開催しています。音響、照明の演出の中、本の楽しさ、物語の素晴らしさを届けようと行っているものです。大濠公園の能楽堂や福岡タワーのホールなど、場所はさまざま。本番の何カ月も前から作品探しや音合わせをし、出演アナウンサーが集まって練習を重ねていきます。

普段の放送では視聴者の方々の顔は見えませんが、朗読会では表情や反応がダイレクトに見えます。楽しそうな笑顔や感極まって涙を流す方を見ると、作品の世界観を皆さんの心にしっかりと届けられたのだとうれしくなります。準備や練習は大変ですが、その喜びを何度でも味わいたくなります。

先日、福岡市東区にあるこども病院へ出張お話会に行ってきました。参加してくれたのは、入院している小学生や中学生。初めて見る私たちの姿にモジモジしている子や「何の本読むの?!」と楽しそうに聞いてくる子など反応はさまざま。みんなとても可愛らしく、話していると癒やされます。

今回、朗読の後に中学生の女の子が「どうやったら朗読が上達しますか?」と質問をしに来てくれました。私たちRKBアナウンサーは子供たちに朗読のアドバイスをするときに、いつも三つのコツを話します。

一つめは、声の大きさに強弱をつけることです。特に強調したい部分の文章は大きな声で。その前後を小さな声で読むと、強調したい部分がより引き立ちます。二つめは、緩急をつけること。主張したいところは意識してゆっくり読むと、より伝わるようになります。

そして三つ目は「間」をつくること。長い間、中くらいの間、短い間と自分の感覚で間をつくると朗読がもっと上手になります（お子さんに朗読を指導する機会があれば、この三つをぜひ教えてみてください）。コツを教えた後、女の子は「分かりました。頑張ります」と笑みを浮かべてくれました。

こういった機会を通じ、「朗読って面白い！」「伝えるって楽しい！」と感じてくれる子供が一人でも増えたら、私たちRKBアナウンサーにとってうれしいことです。この活動が、子供たちにとって朗読や話すことを好きになるきっかけになるといいなと思っていますし、これからも大切にしていきたい仕事の一つです。

こども病院での出張お話会。壽老アナの朗読を子供たちは聞き入る

♡壽老　麻衣（じゅろう・まい）1990年（平2）10月27日、福岡県生まれ神奈川県横浜市育ちの26歳。桐蔭学園高、立教大卒。RKBテレビの「たべごころ」（日曜午後5時から）のナレーション、ソフトバンクホークスなどスポーツ取材を担当。熊本地震の取材を機に、昨夏には防災士の資格を取得。趣味は登山、水泳、半身浴。目下、料理を猛勉強中。得意料理は魚の煮付け。血液型A。

特別ゲストでトークショーを行った清水宏保氏　下人気韓流グループ「ASTRO」が熱いステージを披露

長野五輪スピードスケート金メダリストが特別ゲスト

清水宏保氏「平昌（ピョンチャン）で会いましょう！」

福岡サンパレスで「…応援K―POPコンサート」

「行こう、平昌（ピョンチャン）！応援K―POPコンサート」（主催・韓国観光公社）が福岡市の福岡サンパレスで行われ、人気韓流スター「ASTRO」ら4組が熱いライブを繰り広げた。

特別ゲストとして98年長野五輪スピードスケート男子500メートルで金メダルに輝いた清水宏保氏（43）が登場。平昌五輪での日本選手の活躍を「女子が今、凄く強いのでスピードスケートだけでメダルは7個いける。金はうまくいけば3個」と女子500メートルで連勝を続ける小平らの名を挙げて予想した。45歳での出場を目指すノルディックスキー・ジャンプ男子の葛西については「体の負担を考えてW杯以外は本気でジャンプしてない。五輪にはしっかりピークを合わせてくる」と期待。「現地で会いましょう！」と観戦を呼びかけていた。

「ASTRO」ら4組熱いライブ

「独特の空気の振動を感じて」

浅野祥

〝平成の天才三味線奏者〟来年！27福岡公演

西部総局を訪れた津軽三味線奏者の浅野祥

西部総局を訪れ「NEXT」PR

来年1月27日に福岡市の電気ビルみらいホールでコンサートを行う、津軽三味線奏者の浅野祥（27）がPRのため、スポニチ西部総局を訪れた。04年の津軽三味線全国大会で当時14歳という史上最年少の若さで優勝した〝平成の天才三味線奏者〟は「絶対に生で聴くのがいいと思います。和楽器独特の空気の振動感を感じてほしい」と力を込めた。

5歳のころ、祖父が趣味で弾いていた三味線に憧れ、弾き始めた。消耗品という三味線は11丁持っており、湿気から守るため、きりのケースに入れて家に保管しているという。

07年にデビューし、来年は11年目。「アイドル的な人気からアーティストとして（評価されたい）という気持ちがあった」。そのため、コンサートのタイトルは「NEXT」にした。福岡グルメを楽しみにしており「めちゃくちゃ食べます。特にラーメン」と話した。

21歳博多座最年少主演

唯月ふうか（ゆづき）「名前覚えて」

製作発表で観客と一緒に踊る（右から）周防正行監督、榊原郁恵、唯月ふうか、平方元喜、演出の寺﨑秀臣

18年3月公演「舞妓はレディ」製作発表

博多座2018年3月公演「舞妓はレディ」の製作発表がこのほど開かれた。博多座初のオリジナル和製ミュージカルであることを記念し、製作発表としては初めて博多座のステージで観客を前にした形式で行われた。

同作は周防正行監督の大ヒット映画を舞台化。京都で舞妓（まいこ）を目指す女の子の成長を描いている。周防監督は「本当に光栄。どんな舞台になるか観客の一人としてワクワクする」と喜びを口にした。

博多座最年少主演となる唯月ふうか（21）は「はづき」と間違えられる一幕があったが、「〝ゆづき〟ふうかです！ぜひ、今日は皆さまに名前を覚えて帰っていただけたら」と笑顔でうまく切り返し、観客の心をわしづかみ。主人公を見守る花街のおかみを演じる榊原郁恵（58）は「初めての博多座で久々のミュージカル。どうしよう。本番までに私がどれだけ成長しているか見守ってください」と笑いを誘っていた。福岡出身の平方元基（32）が主人公に興味を持つ言語学者を演じる。